

沙羅の樹文庫だより

NO. 200 (23年7月号)



水平線 小泉周二
 水平線がある
 一直線にある
 ゆれているはずなのに
 一直線にある

水平線がある
 はっきりとある
 空とはちがうぞと
 はっきりとある

水平線がある
 どこまでもある
 ほんとうの強さみたいに
 どこまでもある



今年も3密を避け予約制で開館しています

2023年

7月15日(土)、16日(日)

16日(日曜) 10:30~11:15

開館記念子どものためのおはなし会

8月19日(土)、20日(日)

9月16日(土)、17日(日)

10月14日(土)、15日(日)

11月18日(土)、19日(日)

12月16日(土)、17日(日)

★12月17日午前はクリスマス会★

開館時間：土曜日 13:00~17:00

日曜日 10:00~15:00

子どものための読み聞かせ・おはなし会
 文庫のある日曜日 10:30~11:00

おはなし沙羅・おはなし勉強会
 文庫のある土曜日 10:30~12:30

沙羅の樹文庫

〒413-0235 伊東市大室高原 7-122

☎0557-51-3737 (090-6039-3782)

沙羅の樹分館ゆるかの里子ども文庫

〒413-0232 伊東市八幡野 924-1

☎0557-54-1910

開室日：水曜日 13:00~15:00



半夏生(左)

バイナップルリリー(右)



文庫あれこれ◆梅雨の東 ステファニー・グッテンベルグ

京では、珍しく七夕さま・彦星織姫は会えたはずなのに、豪雨(線状降水帯に)の被害あちこちに。◆文庫の嬉しいニュースです。22日土曜、14:00~伊豆高原駅2Fで<子どもが集うお話し会>の依頼を受けました。お子さん、お孫さんさんお連れください◆庭の手入れしてくだる方、見つかりました◆さて、文庫を



ノース・フレグランス
 (これが正しい花)



始めた60代の頃は文庫のある前日金曜に来て、一晩で文庫だよりを仕上げたものですがそれができなくなって今は、東京で時間のある時に作り始めます。◆昨日(7/9)所属団体で久しぶりの対面<夏の集い>があり、先月子どもの本に入れた作家・村中李衣さんの講演がありました。

彼女は、絵本や物語を執筆するほか、大学で教え、様々な場所で「読みあい」(読み聞かせでなく)活動を広げています。一方的に読み聞かせるのではなく、読み合うことで、互いの絆の背後にも想いが繋がってゆく、と言います。私たちの心に、交わった高齢者や子どもとの現場がスーッと伝わり、ああ、先生もご自身を大きく豊かになされているんだな、と嬉しく思いました。◆バラの友人のお蔭で、の花や木にも目がゆくようになり、こちら嬉しい限りです。



白丁花

(道歩きながら、何の花だろうと想着いたら、11日天声人語に白丁花：はくちょうげ、と)◆今日は歯医者さん。左右の奥歯を抜いたので、ものがしっかり噛みきれず飲み込んでいます。◆青空が広がっていますが、34度(昨日は36度)今日も灼熱温度になりそう。◆週末が、凌ぎやすい日々でありますよう。(西村)
 (お詫び：6月号でこの欄に載せたノース・フレグランスは名前違いで、正しくはアシュラムでした。)

シャーロック・ホームズを推理する (11) ~男同士の絆~

小林 由美

「シャーロック・ホームズ」シリーズ 60 篇にはすべて、探偵であるシャーロック・ホームズと、その相棒で医者ジョン・ワトソンが登場します。ホームズの事件記録をワトソンが書いて世間に公表しているという設定になっています (一部例外がありますが)。

この「男同士のコンビ」は、その後の小説、映画、ドラマなどにも多く取り入れられるようになりました。その原型はエドガー・アラン・ポーの推理小説中に登場するデュパンと「私 (語り手)」とも言われますが、ポーは3篇しか書いておらず、やはりホームズ・シリーズが世界中に大きな影響を与えたと思われまます。奇人で天才的なホームズと、凡庸ながらも誠実にホームズの不足するところをフォローするワトソンというキャラクターの面白さは、他に類を見なかったでしょうから、真似したくはなりませんね!

推理小説だけでなく、海洋小説の「オーブリー&マチュリン」シリーズ (パトリック・オブライアン) などは、艦長と船医というコンビですが、明らかにホームズとワトソンのコピーであると思われまます。近年日本で流行ったテレビドラマ「相棒」は、刑事・杉下右京とその相棒 (ひとりではなく変遷していく) が文字通りコンビとして難事件を解決していきます。

絵本で思い出すのは、「がまくん・かえるくん」シリーズ (アーノルド・ローベル) です。Toad (ヒキガエル) と Frog (カエル) のでこぼこコンビが醸すのは、笑いと熱い友情です。

でもホームズ・シリーズを遡ること70年、実は日本で「男同士のコンビ」の傑作が生まれています。十返舎一九の『東海道中膝栗毛』は弥次さん喜多さんコンビの抱腹絶倒の珍道中。50歳と30歳という年の差のあるコンビですが、この二人はゲイなんですよね。

ホームズとワトソンの関係もまた、友情なのか恋愛なのかという詮索はいまだに続いています。近年のテレビドラマ「Sherlock」(英BBC) も「シャーロック」(フジテレビ) もその点を匂わせながら視聴者を楽しませていました。

そういえば「がまくん・かえるくん」の作者ローベルはゲイだったと晩年カミングアウトしています。友情も、恋愛も「愛」であることには変わらない、というところで落ち着かせましょう。



★今回も面白かった、ですね。えーつ。えーつと驚いて、日本の相棒・弥次さん喜多さんの姿をネットで探しちゃいました。浮世絵にもたくさんあるので、すね。

改めて、新しく知った情報を思いながら『東海道膝栗毛』を眺んでみましようか!!



左:アーノルド・ローベルのシリーズは、子ども達も、孫達も、文庫の子達も、大好きでした!! 奥さんのアニタ・ローベルとの共作も! 個人的にはちよい淋しいけど、他人がどうこう言うことでなし、ですね。



23. 7月に入る子どもの本

絵本

『父ちゃんは むしゃんよか』(内田麟太郎文 西村繁男絵 光村教育図書 2020) ID13920

『根っこのこどもたち 目をさます』(ジビレ・フォン・オルファースエ ヘレン・ディーン・フィッシュぶん いしいももこやく・へん 童話館出版 2003) ID13921

『二ひきのこぐま』(イーラ作 松岡享子訳 こぐま社 1990) ID13922

『キスなんてだいきらい』(トミー・ウンゲラー作 矢川澄子訳 好学社 2023) ID13

読みもの

『なぞなぞのすきな女の子』(松岡享子さく 大社玲子え 学研 1973) ID13924

昔話

『山梨のむかしむかし』(山梨昔ばなし再話研究会編・刊 2021) ID13925

『ブラジルのむかしばなし1~3』(カメの笛の会編 東京子ども図書館 2011) ID13928~6

参考図書ほか

『ランプシェード「こどもとしゃかん」連載エッセイ 1979~2021』(松岡享子著 東京子ども図書館 2023) ID13930

著者から寄贈の参考図書

『学びをつなぐ学校図書館 (シリーズ学びの環境デザインを考える3)』(林良子著 鎌田和宏編集・解説 悠光堂 2022) ID13929

『戦争と平和-子どもと読みたい絵本ガイド』(草谷桂子著 子どもの未来社 2023) ID13931



コロナを経て、再び始まった子どもたちとの交流 皆さんからいただきました・その1

国立市で「矢川プラス」(児童館&子育て支援センター)オープン

小さい子におはなし会。



後から来た小学生とカタハミの実験もできました。

月1度の出前活動を目指して♡
東京・国立市のやまびこ文庫 代田さんから



助っ人で行った加茂町で

図書館・小学校、マスクなしでおはなし会!!イベントも人数制限なし♡子どもと読み聞かせ、楽しいです。……
京都・城陽おはなしサークル 塚脇さんから



23. 7月に入る大人の本

フィクション

『夜果つるところ』(恩田陸著 集英社 2023) ID19045

『物語の種』(有川ひろ著 幻冬舎 2023) ID19046

『ハンチバック』(市川沙央著 文藝春秋 2023) ID19047

『藩邸差配役日々控』(砂原浩太郎著 文藝春秋 2023) ID19048

『今ひとたびの、和泉式部』(諸田玲子著 集英社 2017) ID19038

『まいまいつぶろ』(村木嵐著 幻冬舎 2023) ID19053

『ヤギと少年、洞窟の中へ』(池澤夏樹著 黒川征太郎絵 スイッチ・パブリッシング 2023) ID19039:絵本だが、高学年以上、大人に読んでほしい。

『流れる島と海の怪物』(田中慎弥著 集英社 2023) ID19052

エッセイ ほか

『ぼくはあと何回、満月を見るだろう』(坂本龍一著 新潮社 2023) ID19051

『糸暦』(小川糸著 白泉社 2023) ID19055

『神保町に銀漢亭があったころ』(堀切克洋著 北信社) ID19054

『われらの牧野富太郎』(いとうせいこう監修 毎日新聞出版 2023) ID19056

『この世この生-西行、良寛、明恵、道元』(上田三四二著 新潮社 1984) ID19037

文庫

『朝のあかり-石垣りんエッセイ集』(石垣りん著 中公文庫 2023) ID19049

『ノー・カントリー・フォー・オールド・メン』(コーマック・マッカーシー著 黒原敏行訳 ハヤカワ epi 文庫 2023) ID19050

.....

・・・5月25日～6月1日が今回我々夫婦のパリ旅行最初の予定だった。・・・

<25日>

羽田を(明けて)26日午前0時5分発のAF293便で。が、25日朝届いた「AF293便はキャンセル」の知らせはパリ旅行の第一の躓きとなった。

えーっ、仏の友人夫妻との約束も、我が家の愛鳥インコ・ロングを三島のショップに宿泊予約したのも・・・。とにかく今日は予定通り羽田近辺まで行き、明朝のJAL便を目指そう。

<26日>

朝8時半頃のJAL便に何とか搭乗出来た！

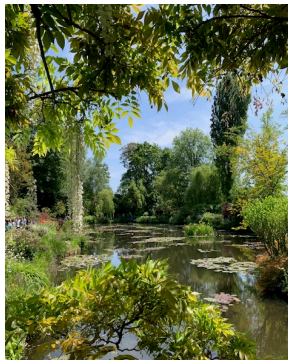
パリ26日夕、シャルル・ドゴール空港に着き、

HOTELODESSAに行くと、ザビエルとヘレナ夫妻は、受付に伝言し、隣のカフェで待っていた！お揃いの「侍」の字入りTシャツ、箸置きセット、玉葱ドレッシング(前に喜んでくれた)、お茶やお菓子などを渡す。

ホテル・オデッサ



<27日>



モネ睡蓮の池

Giverny (ジベルニー：モネの睡蓮池) 行き。2人が車で迎えに来てくれた。2010年にも一度連れて行ってくれたが、前は9月末。今回は5月、時期も天候も完璧！入るのに、長いQUE(順番待ち)はあったが。



モネ睡蓮の池

<28日>

愈々今回のMain Event・ROLAND GARROSのテニス観戦当日。今日は、アウトサイドのコートで、明日は少し値の高いコート。ただ問題はSeatnetからEチケットがまだ届いてない。取りあえず現地へ。みんな駅から行列して歩いている。現地でStaffに訊くと、ではカスタマーサービスへ、と。

そのStaffはこれ(私達の予約購入会社)はOfficialではないから申し訳ないが、入場は無理と無情に言われた。スゴスゴ出て来ると、他にもイギリスから来た3人組が僕らも同じだ、やられた！と。すぐにクレジット止めねば、とも！

私たちは宿に戻り、夜中の3時、クレジット会社にTELした。長い音声案内の後の返事は、この代金引落とし停止は出来ない、が調査はする、というものだった。

ローランド・ギャロスへの道



(8月号に続く)



蚤の市

徒然なるままに・・・(さ・ら)

★ちよい旅がないと、スペースを埋めるのが大変です。★で、今回のお話のきっかけは・・・、23.6.30の朝刊・ひととき欄<香りの宝探し>。旅先ブルガリアで、どこに行っても漂ってきた菩提樹の香りが忘れず、82歳のその人は、茨城のお寺さんまで訪ねたと。・・・★え〜っ？ 茨城のバラの友人がそのお寺さんの近くだから 去年は行って

みようか。親鸞聖人手植えの木とら早速行って写真を!! ★菩提樹は、ウィーン少年合唱団が歌うシューベルトの歌で知ったのよね

え。そう言えば梓みちよの「リンデンバウムの大きな幹に愛の言葉を彫ってきたー」というのもあったっけ。あの木にそんないい匂いが!! などと考えていたら、菩提樹って、お釈迦さまに

関係あるのよね、から、★お釈迦さま=仏教三大聖木は? になって・・・★お釈迦さまのお母さんが旅の途中で

お釈迦さまを(腋の下から)産み落とした?とき、手折ろうとした無憂樹の花(赤い無憂華)を思い浮かべた。★その花が出てくる絵本『シャエの王女』(榎佐知子作 赤羽末吉絵 偕成社)は心痛む話だったな。それを語ってくれた今は亡き当時90歳近い人の静謐な語りに心運ばれ、★そう言えば、文庫の

ヒメシヤラも本物ではないけれど、沙羅双樹と縁がなくはない。6月の文庫では音もなく落ちて庭を埋めてたわ。★ヒメシヤラの白い花もいい匂いがするのだとか。かいだことなかったなあ、来年こそは! 等等。

★歳をとるところやっ取り止めなく、次から次へ思い出して時を過ごすのも満更ではないのかも? お粗末さま。

★菩提寺に菩提樹咲けり7回忌

(朝日俳壇・愛川さん)

リンドグレーンの「ボダイジュがかなでるとき」(『小さいきょうだい』岩波書店)、それを絵本化した『よろこびの木』(スウェン・オットー絵 徳間書店)も心打ちます。

